

原勝郎 はらかつら 史學者、文學博士。明治四年一月二十七日陸中國盛岡  
生れ、大正十二年一月十四日歿（八七—一九四）。明治二十九年帝國大  
學文科大學史學科卒。二十二年第一高等學校教授、四十五年歐米留學、  
四十七年京都帝國大學文科大學教授、四十九年文學部長。鎌倉から戰國時  
代まで日本の中世を位置附け、武士の果した役割を評價した。留學後は  
西洋最近世史研究の著者。

著書に『昨年の歐米—一九一一年』（明治四十五年四月二十一日富山  
房）、『昨年の歐米・第二卷—一九一二年』（大正二年四月十一日富  
山房）、『南海一覽』（大正三年九月二十一日東京亞細亞書房、復刊・昭  
和五十四年十月十日中央公論社「中文庫」）、『歐米最近世史十講』  
（大正四年五月二十四日弘道館）、『東山時代に於ける一縉紳の生活』  
（昭和五十二年四月十日講談社「講談社学術文庫」）等。

